

一 緑ゆたかなを 小なみに

やわらかな雲を 流れてく

遠く広がる ゆたかな大地

わたしたちを ささぐえよう

たしかな力を 身につけて

ひとみ輝く

真駒内公園の小もたち

二 清流のせせらぎに

さわやかな風が ふきぬける

遠く広がる みどりの野原

わたしたちを むかえよう

ゆたかな心を はぐくんで

笑顔あふれる

真駒内公園の小もたち

## 校歌作詞の思い

### 【1番】

- 目の前に聳える藻岩山、空に眼を移せば青空に白い雲が流れている。
- そこから広がる豊かな大地の上で、私たちは生きています。
- 真駒内公園小学校の子どもたちは、ひとみを輝かせながら学び、しっかり力を身につけた子どもに育ってほしいと願っている。

### 【2番】

- 近くを流れる豊平川、そこからさわやかな風が吹いてくる。
- 緑いっぱいの真駒内公園が、私たちの学習の場として迎えてくれる。
- 真駒内公園小学校の子どもたちは、笑顔がいっぱいにあふれ、やさしく豊かな心をもった子どもに育ってほしいと願っている。

## 校木 「しらかば」



北海道に多くみられる「しらかば」は、校名にもなっている真駒内公園にも数多く生息する。荒地にもいち早く芽を出して成長するたくましい木で、南区の木にも指定されている。北の大地にたくましく成長する「しらかば」のように子どもたちにもたくましく育ってほしい。

## ～校章に描いた思い～

- 周りは、真駒内公園のシンボルである、アイスアリーナを上から見た形である。
- 緑と青の帯は、豊かな自然の象徴である藻岩山と豊平川を表現するとともに、真駒内小学校と真駒内曙小学校が一つになったことを意味している。
- 飛び立つ鳩は、「自立」と「共生」の象徴である。



デザイン  
 教頭 小松 靖一

- 3色のラインは、知・徳・体の学校目標が一点に集まり、子どもたちが未来へ向けて成長する姿を表し、同時に、保護者・地域・教職員がともに手を取り、子どもたちを育むことを描いた。
- 世界へつながる国際色豊かな学校を願い、校名のイニシャル「MK」を書き、北国北海道の「雪」をバックの白で表現している。